



HLA適合血小板の供給体制構築

血小板製剤の1つにHLA適合血小板 (PC-HLA) という製剤があることをご存知でしょうか？ PC-HLAは、輸血や妊娠によってHLA抗体を保有した患者さんに供給される血小板製剤です。患者さんと一致するHLA抗原、または患者さんの保有するHLA抗体と反応しない抗原 (許容抗原) を基に、HLA登録いただいている方の中から適合するドナー (献血者) を検索しています。

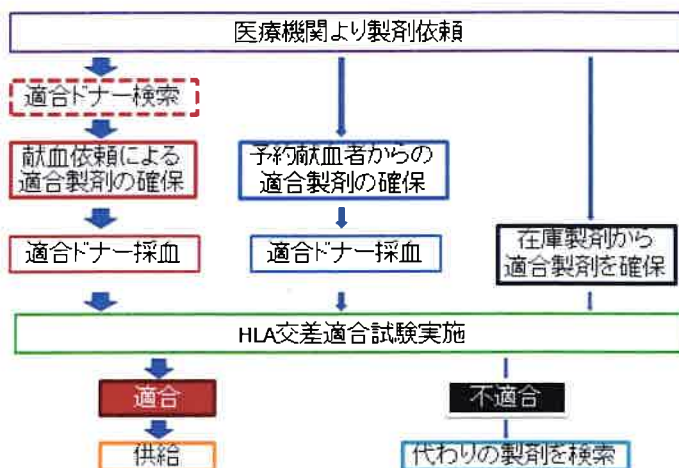
PC-HLAの確保には2種類の方法があります。1つ目はHLA適合ドナーに献血依頼を行う方法です。この方法はHLA適合ドナーの少ない患者さんにも適応可能ですが、献血依頼から実際に採血するまでに日数を要するため、急な製剤の供給依頼には対応が困難です。医療機関にPC-HLAを供給するまでに原則1週間が必要とお願いしているのはこのためです。2つ目の方法は血小板予約ドナー、もしくは製剤在庫PCの中からPC-HLAを検索する方法です。HLA適合ドナーの多い患者さんでは短い期間でPC-HLAを用意することが可能ですが、HLA適合ドナーの少ない患者さんでは見つかる確率はかなり低くなるため、この方法はあまり有効ではありません。

HLA適合ドナーが見つかり、製剤を確保することができるとHLA交差適合試験を行います。HLA適合ドナーの血液とHLA抗体を保有する患者さんの血清を使用し、ドナーの抗原と患者さんの抗体が反応しないことを確認する検査です。この試験で陰性となったものだけがPC-HLAとして医療機関へ供給されます。

PC-HLAは、ドナーへの献血依頼や交差適合試験の実施等の工程により、通常血小板製剤より供給に時間を要します。しかし患者さんの容態によっては急な輸血が必要となることも少なくありません。そのような事態に対応すべく、献血管理部門ではHLA登録ドナーを拡大しており、検査課では、新規にHLA登録いただいたドナーのHLAタイピング (型検査) を実施しています。現在中四国ブロック内の血小板ドナーのHLAタイピング率は90%を超えました。また、昨年より患者さん毎にHLA適合ドナーが見つかる確率を算出し、それを基に献血依頼と在庫検索のどちらで対応するのが効果的か判断する新たな検討を始めています。PC-HLAの円滑な供給には医療機関と血液センター献血管理部門・供給部門との連携が大変重要です。皆様、今後ともご理解とご協力をよろしくお願い致します。

(中四国ブロック血液センター
検査一課 永岡優花)

HLA適合血小板(PC-HLA)供給までの流れ



学会認定・自己血輸血看護師を ご存知ですか？



輸血には、「同種血輸血」と「自己血輸血」があります。「同種血輸血」は、血液センターで献血者から採血された血液を原料とし、製造された輸血用血液製剤が使用されます。近年、個別NAT検査等により同種血(=輸血用血液製剤)の安全性は著しく向上しています。にもかかわらず「自己血輸血」を行う意義は、輸血後ウイルス感染症や免疫学的副作用などの心配が無いことに加え、患者さんが医療へ参加し病気と闘う意識を高めることにより得られる精神的効果が期待されることです。

「自己血輸血」には、「希釈式」「回収式」「貯血式」の3種類があり、「貯血式」に次ぎ2016年度の診療報酬改定では「希釈式」も保険適応になりました。

学会認定・自己血輸血看護師は広島県内に11名(2017年3月現在)、うち3名が広島県赤十字血液センター採血課の看護師です。以前、「自分の病院で自己血採血をするので、採血手順を知りたくて献血に来ました。」と話された献血者がいらっしゃいました。私は、この方と同じ思いの医療関係者が少なからずいらっしゃるのではないかと、その方々のお役に立てることはないかと、また医療機関から自己血に関する問い合わせがあれば的確に答えることができるよう自己血輸血の現状を知っておく必要があるのではないかと考え、2009年に学会認定・自己血輸血看護師試験を受け、認定されました。

資格取得後は、従来医薬情報担当者が受けていた医療機関における自己血採血に係る研修会に出向き、安全な自己血輸血を行うための知識のみならず、看護師だからこそできる実技指導を行い、好評を得ています。

広島県合同輸血療法委員会が、県内供給実績上位100施設を対象として実施したアンケート調査では「平成25年以降の自己血輸血実施の有無」の設問に39施設が自己血輸血を実施してい

ると回答されています。しかし、実際に医療機関へ出向いてみて、自己血輸血を安全に実施するための体制が整っている施設が少ないことも分かりました。医療機関で採血された自己血の品質を保ち、安心して患者さんに輸血していただけるよう、今後も情報や技術を提供して行きたいと考えています。

(広島県赤十字血液センター 採血課 田頭真利江)

